MODELLISTA

MSD41-52017/18
フロントスポイラー

取付・取扱要領書

この度はMODELLISTAフロントスポイラーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取付け、取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番・適合車種

品 番	塗装色	適合車種	型 式	備 考
MSD41-52017-A1	プラチナホワイトパールマイカ(089)	アクア	'25.09～	-
MSD41-52017-C0	ブラックマイカ(209)			
MSD41-52018-NP	未塗装品			

・最新の適合情報は MODELLISTA カタログサイトをご覧ください。https://www.modellista.co.jp/

⚠ **注意**：エンジンルーム内、ラジエータキャップ付近に配線を通したり、部品を取付ける際、腕等がラジエータキャップに接触しやすく、上着など着用している場合にラジエータキャップが緩んだことに気づけない場合があります。ラジエータキャップと接触し緩んだ場合、オーバーヒートに繋がる可能性があります。
ラジエータキャップに限らず、用品取付作業後には作業部位周辺に異常がないかご注意ください。

■ 構成部品

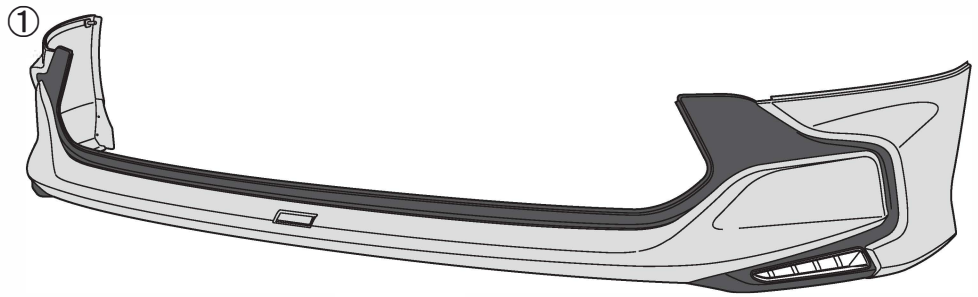
No.	部 品 名	品 番	個 数	備 考
①	フロントスポイラー		1	
②	ハーネスキット		1	小袋
③	クリップナット		2	
④	スクリベット		4	
⑤	アプセットタッピング		2	6×25
⑥	ワッシャー		2	t=0.4　内径φ8.5　外径φ14
⑦	両面テープ		2	t=0.15　内径φ8　外径φ16
⑧	結束バンド		4	L=150
⑨	クッションテープ		2	50×100
⑩	穴あけ位置決めステッカー1/2		1	
⑪	穴あけ位置決めステッカー2/2		1	
⑫	PACプライマー		1	N210NT

以下、 MSD41-52018-NP(未塗装品セット) のみに同梱

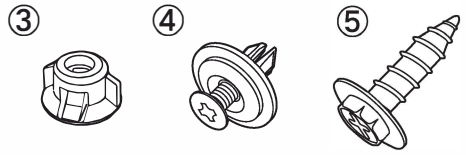
No.	部 品 名	品 番	個 数	備 考
⑬	LEDユニット　RH		1	
⑭	LEDユニット　LH		1	
⑮	トラスタッピング		4	5×12
⑯	スクリューグロメット		4	
⑰	スクリベット(小)		2	
⑱	エンブレムプレート		1	
⑲	エンドモール(イ型)		各1	ライトグレー:L=1000 黒:L=3100
⑳	塗装用マスキングシール		1	

※確認・本商品が到着後、 すぐに本体に破損がないこと、 付属品が全てそろっていることを確認してください。

□ 構成部品図

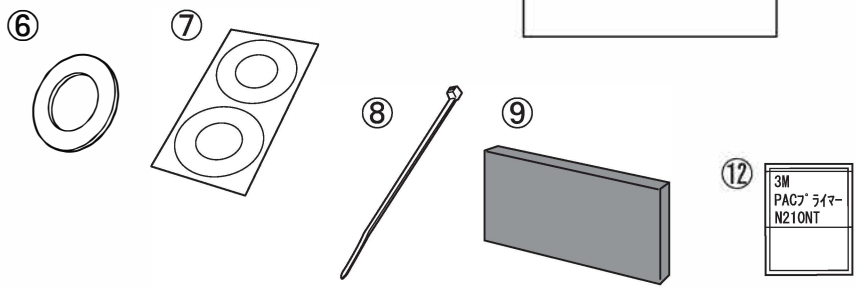


②
ハーネスキット

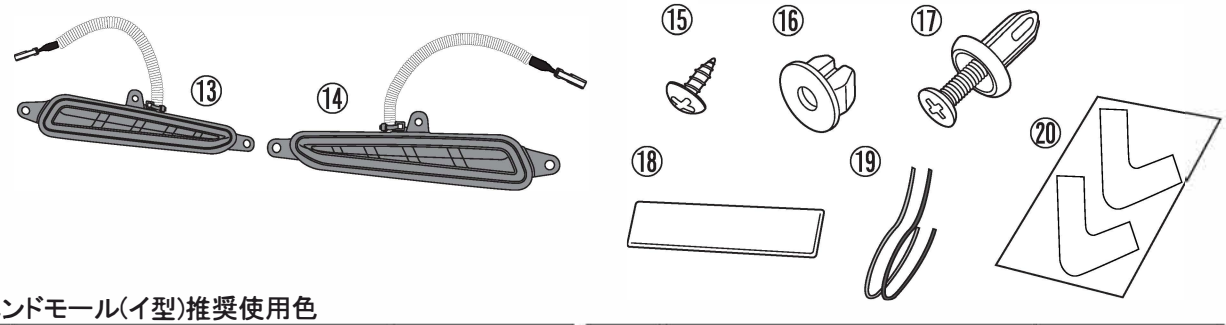


⑩
型紙 1/2
A

⑪
型紙 2/2
B、 C、 D、
E、 F



以下、 MSD41-52018-NP(未塗装品セット) のみに同梱



⑲エンドモール(イ型)推奨使用色

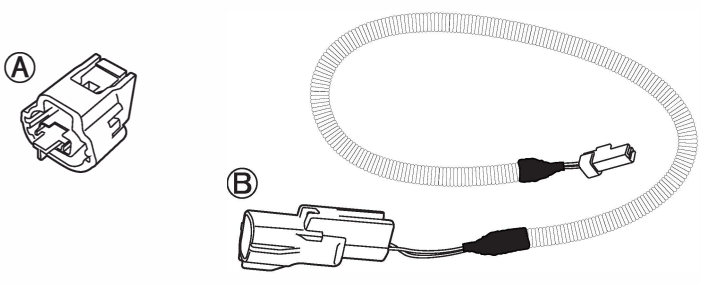
色番号	色 名 称	モール色
040	スーパーホワイト2	黒 / ライトグレー
089	プラチナホワイトパールマイカ	黒 / ライトグレー
1L0	シルバーメタリック	黒 / ライトグレー
209	ブラックマイカ	黒 / 黒
3U5	エモーショナルレッド2	黒 / 黒

色番号	色 名 称	モール色
4Y3	クリアベージュメタリック	黒 / ライトグレー
4Z2	マッドバス	黒 / 黒
6X3	アーバンカーキ	黒 / 黒
8W2	グレイッシュブルー	黒 / 黒

■ ②ハーネスキット　構成部品

No.	部 品 名	品 番	個 数	備 考
Ⓐ	コネクタ		2	車体側用
Ⓑ	中間ハーネス		2	スポイラー裏側用

□ 構成部品図



取付け上のご注意（取付け作業者の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行なってください。

⚠ 警告	この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行なうと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠ 注意	注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行なうと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ やってはいけないこと　❗ 必ず行なっていただくこと

⚠ 警告

⃠本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招くおそれがありますので絶対に行なわないでください。

❗本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行なってください。

❗取付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより、重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠ 注意

❗本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行なってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

❗本商品の装着により、タイヤとタイヤハウスとの隙間が少なくなる場合があります。
洗車やタイヤ交換の際、手指を挟んだりぶつけたりしないよう、ご注意ください。

脱脂作業について(別紙の脱脂作業要領も参考にしてください。)

❗脱脂作業を行なう際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用して確実な脱脂を行なってください。

❗脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂ができず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

❗脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。

❗両面テープは一度貼付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼付けはできません。

❗本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着力が著しく低下します。
温度が足らないと両面テープが剥がれます。

❗両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行なってください。
圧着が足らないと両面テープが剥がれます。

⃠本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。
装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取付けが終わったら

❗取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。

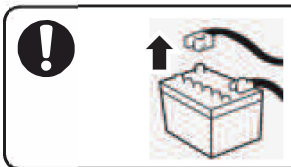
❗バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。
※車両システムの初期化は、GTS等のツールが必要な場合があります。

❗本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。

LEDイルミネーションランプ配線取付け上のご注意

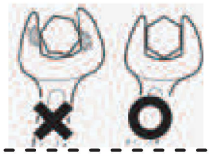
❗ビニールテープをご使用の際は、必ず難燃性の耐熱ビニールテープを使用してください。
推奨品：V9650-0484 （耐熱ビニールテープ・灰色）

❗バッテリー復元作業後は、機能部品に初期化や調整が必要な場合があります。 取付け作業後は必ず該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、初期化・調整作業の有無をご確認ください。



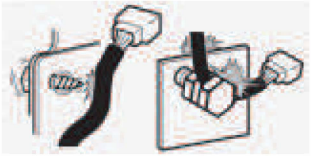
取付ける前に

・作業前に必ずバッテリーのマイナス端子を外す。

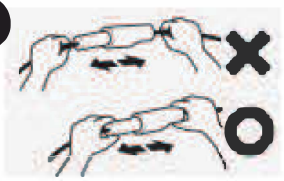


部品を取付ける際は

・部品サイズにあった工具を使用する。

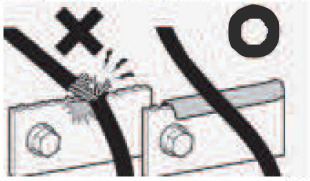


・部品の裏側に注意して、配線の噛み込みやビスの接触、断線に十分に注意する。



配線の取りまわしは

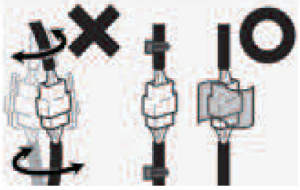
・コネクタは必ず本体持って外し、配線は引っ張らない。



・バリやエッジ部はガムテープ等で保護をする。



・コネクタは「カチッ」と音がするまで確実に接続して、配線は無理なチカラで引っ張らない。



配線のクランプは

・結束バンドは配線が動かない程度に締めて、締めすぎない。
・結束バンドの余った部分は、エッジにならないようにカットする。
・カットした端末がほかの配線と接触しないようにする。
・コネクタが振動により異音がしないように確実に固定する。

⚠ **注意**：エンジンルーム内、ラジエータキャップ付近に配線を通したり、部品を取付ける際、腕等がラジエータキャップに接触しやすく、上着など着用している場合にラジエータキャップが緩んだことに気づけない場合があります。ラジエータキャップと接触し緩んだ場合、オーバーヒートに繋がる可能性があります。
ラジエータキャップに限らず、用品取付作業後には作業部位周辺に異常がないかご注意ください。

⚠ **注意**：バッテリー接続中に作業を行なう際は、エアバックセンサー等に衝撃を与えないように、十分に注意して作業を行なってください。

■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種 ･･ 1
2. 構成部品、構成部品図･･2～3
3. 取付け上のご注意(取付け作業者の方へ)････････････････････････････ 4
4. LEDイルミネーションランプ配線取付け上のご注意････････････････････ 5
5. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付け構成図･････････ 6
6. 取付け準備・取付け要領･････････････････････････････････････ 7～17
7. 取付け完了後の点検・注意事項･････････････････････････････････18
8. 未塗装品の取扱いについて・補修キットの両面テープ貼付け････････････ 19～22
9. 配線図･･ 23

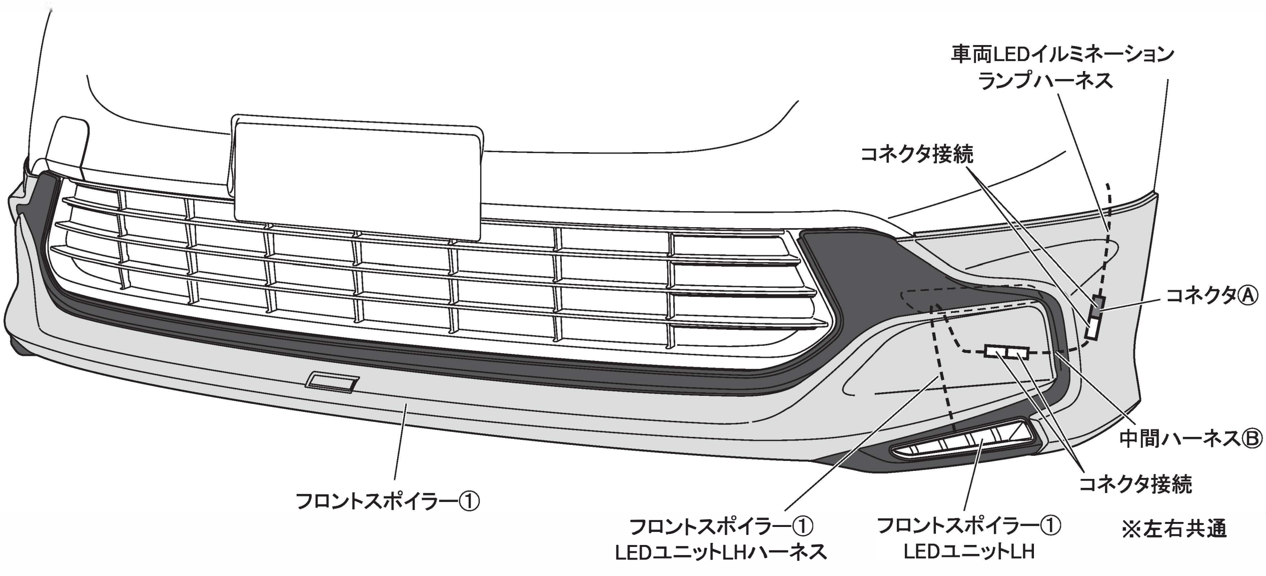
■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

・一般工具・プラスドライバー・クリップリムーバー・プライヤー
・ケガキ針・ヤスリ・保護メガネ
・電動ドリル(刃：3.0㎜/6.0㎜/10.0㎜)
・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・養生テープ
・イソプロピルアルコール(IPA)・清潔なウエス

■ 保証について

本商品は、1年・20,000㎞の保証を実施致します。
(1年または20,000㎞走行時点のいずれか早い方まで)
※保証の詳細はMODELLISTAカタログサイト＜https://www.modellista.co.jp/＞
「保証について」をご覧ください。

■ 取付け構成図

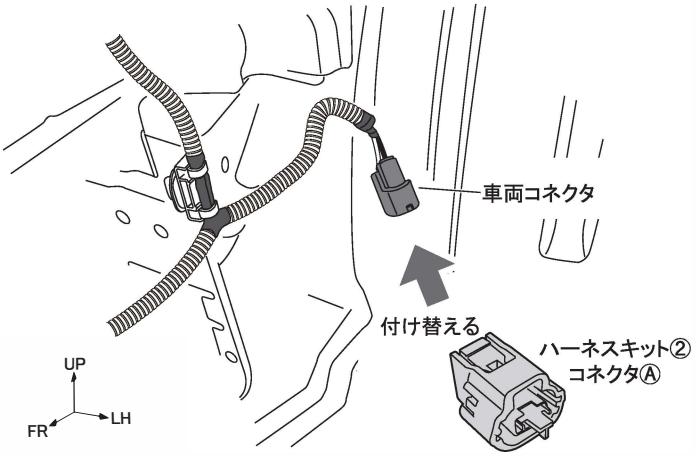


□ フロントスポイラーの取付け準備 -1

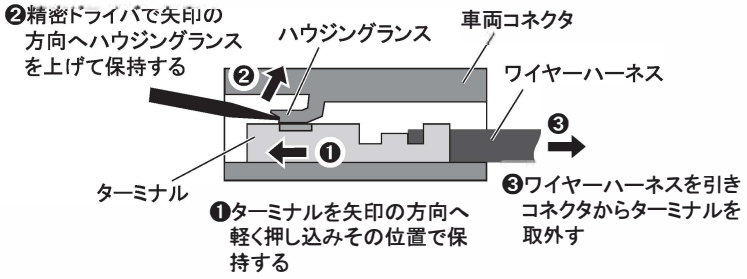
1. バッテリーの(－)端子を取外す。
2. 車両からフロントバンパーを取外す。
3. フロントバンパーから車両LEDイルミネーションランプを取外す。(2箇所)

アドバイス：フロントバンパー、車両LEDイルミネーションランプの取外しの詳細は該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)をご参照ください。
取外した車両ビス類は一部再使用します。

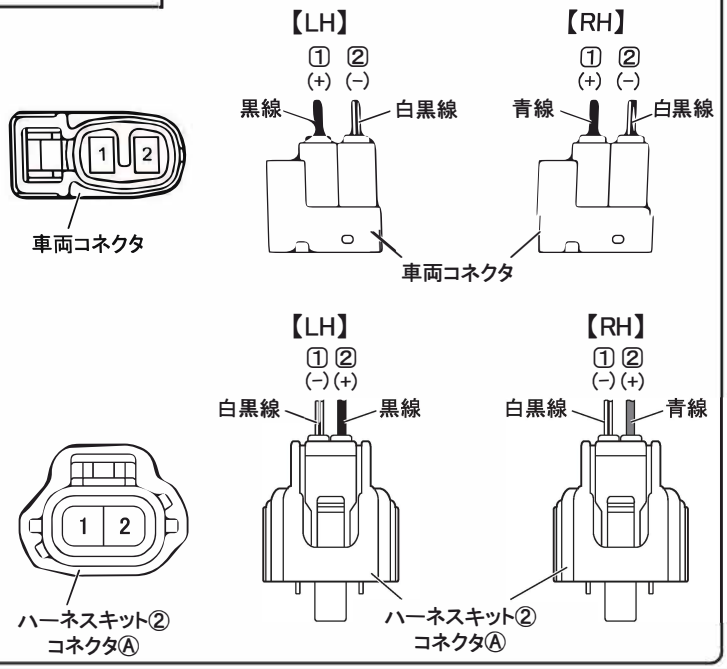
図1　※LH図示　左右共通作業



車両コネクタ　ターミナル取外し手順



コネクタ情報



4. 図1のように車両コネクタをハーネスキット②コネクタⒶに付け替える。(左右各1箇所)

⚠ **注意**：車両コネクタを取外す際、フィメールターミナルボックスに精密ドライバを挿入しないよう注意してください。
誤って挿入してしまった場合は、その多少に関係なくターミナルを新品と交換してください。

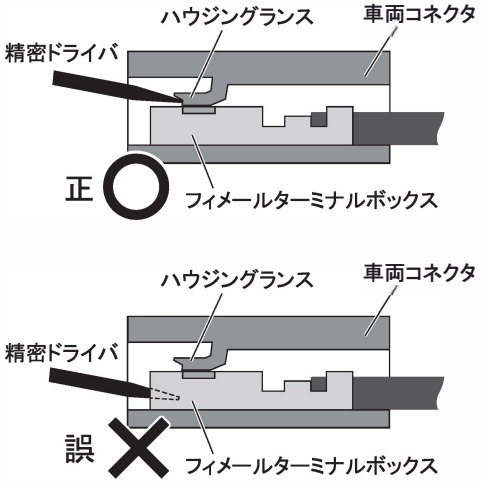
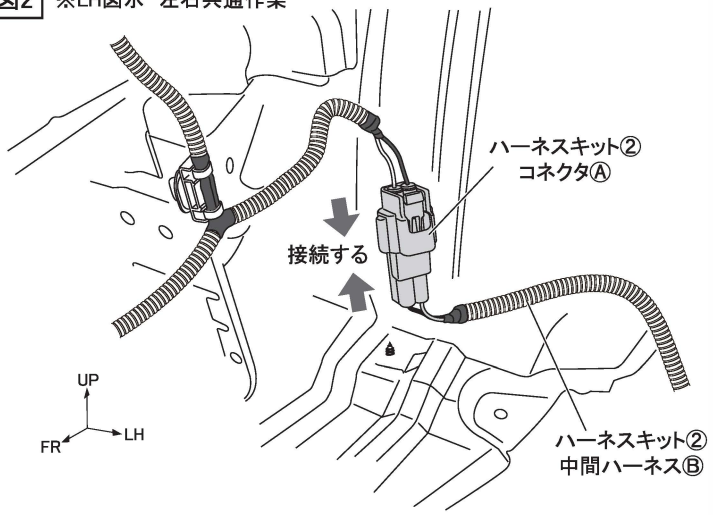


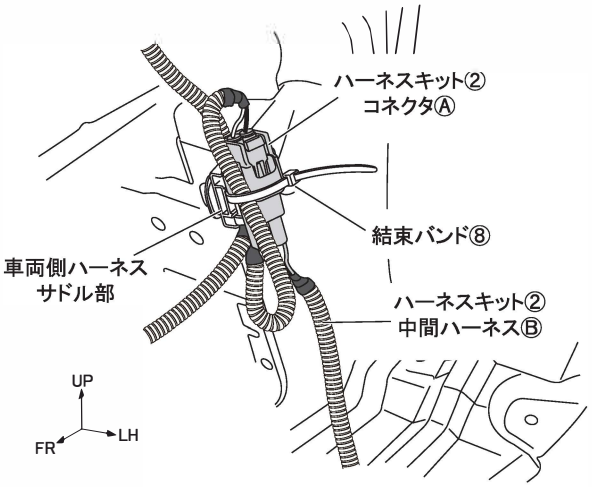
図2 ※LH図示 左右共通作業



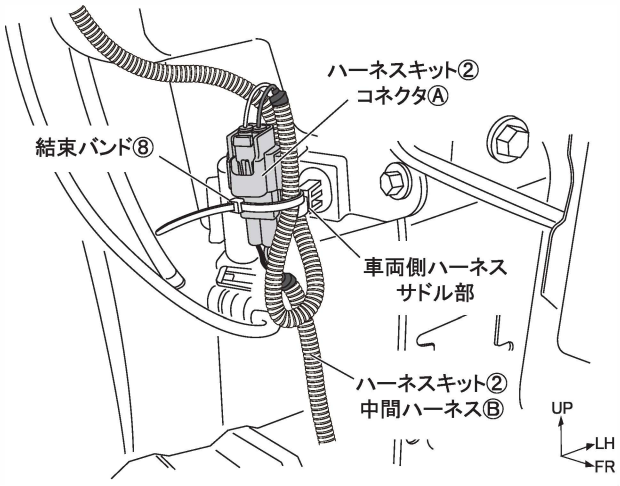
5. 図2のように車両側へ取付けたハーネスキット②コネクタⒶへハーネスキット②中間ハーネスⒷを接続する。（左右各1箇所）
6. 図2のように接続したハーネスキット②中間ハーネスⒷを車両側ハーネスへ結束バンド⑧で固定する。

⚠ **注意**：ハーネスキット②中間ハーネスⒷを固定する車両側ハーネス部の形状が左右で異なります。
図2の要領でそれぞれ固定してください。

LH側固定部 車両側ハーネスサドル部を利用して結束バンドで束ねて固定する

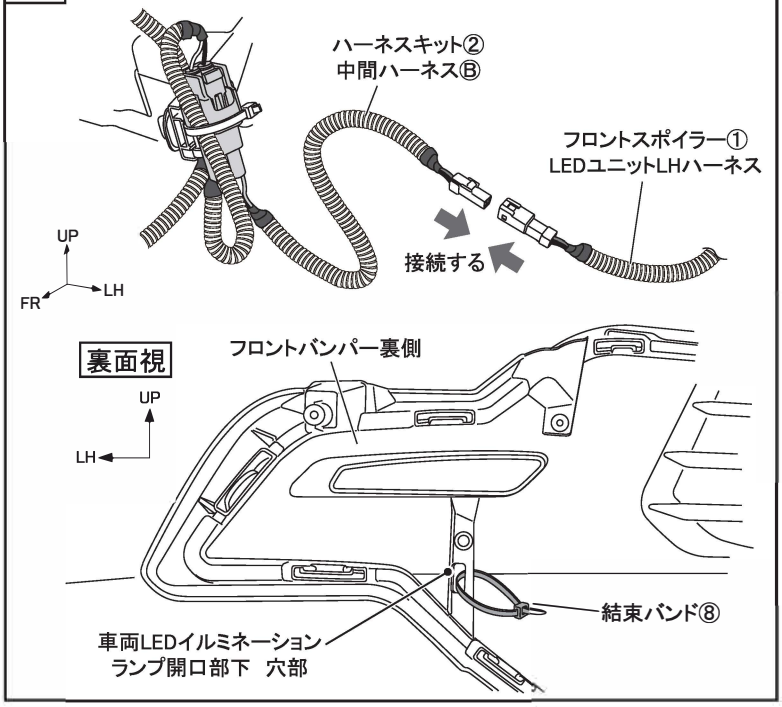


RH側固定部 車両側ハーネスサドル部を利用して結束バンドで束ねて固定する



□ LED イルミネーションランプの点灯確認

図3 ※LH図示 左右共通作業



1. 図3のように車体側のハーネスキット②中間ハーネスⒷとフロントスポイラー①LEDユニットLHハーネスを接続する。（左右各1箇所）
2. バッテリーのマイナス端子を取付け、テールONの状態にしてLEDイルミネーションランプの点灯確認を行う。
点灯確認後、テールOFFにしてバッテリーのマイナス端子を外す。
3. ハーネスキット②中間ハーネスⒷとフロントスポイラー①LEDユニットLHハーネスを取外す。
4. 図3のように後の配線作業の為、フロントバンパー裏の穴へ結束バンド⑧を通して輪っか状態にしておく。（左右各1箇所）

⚠ **注意**：点灯確認の際、フロントスポイラー及び車体に傷をつけないようにしてください。

□ フロントスポイラーの取付け準備 -2

1. 図4のように穴あけ位置決めステッカー(A)LH⑩、(B)LH⑪、(C)LH⑪、(D)⑪、(E)LH⑪をフロントバンパーへ貼付ける。

⚠ **注意** : 必ず穴あけ位置決めステッカー(A)から順に貼付けてください。

図4　※LH図示　左右共通作業

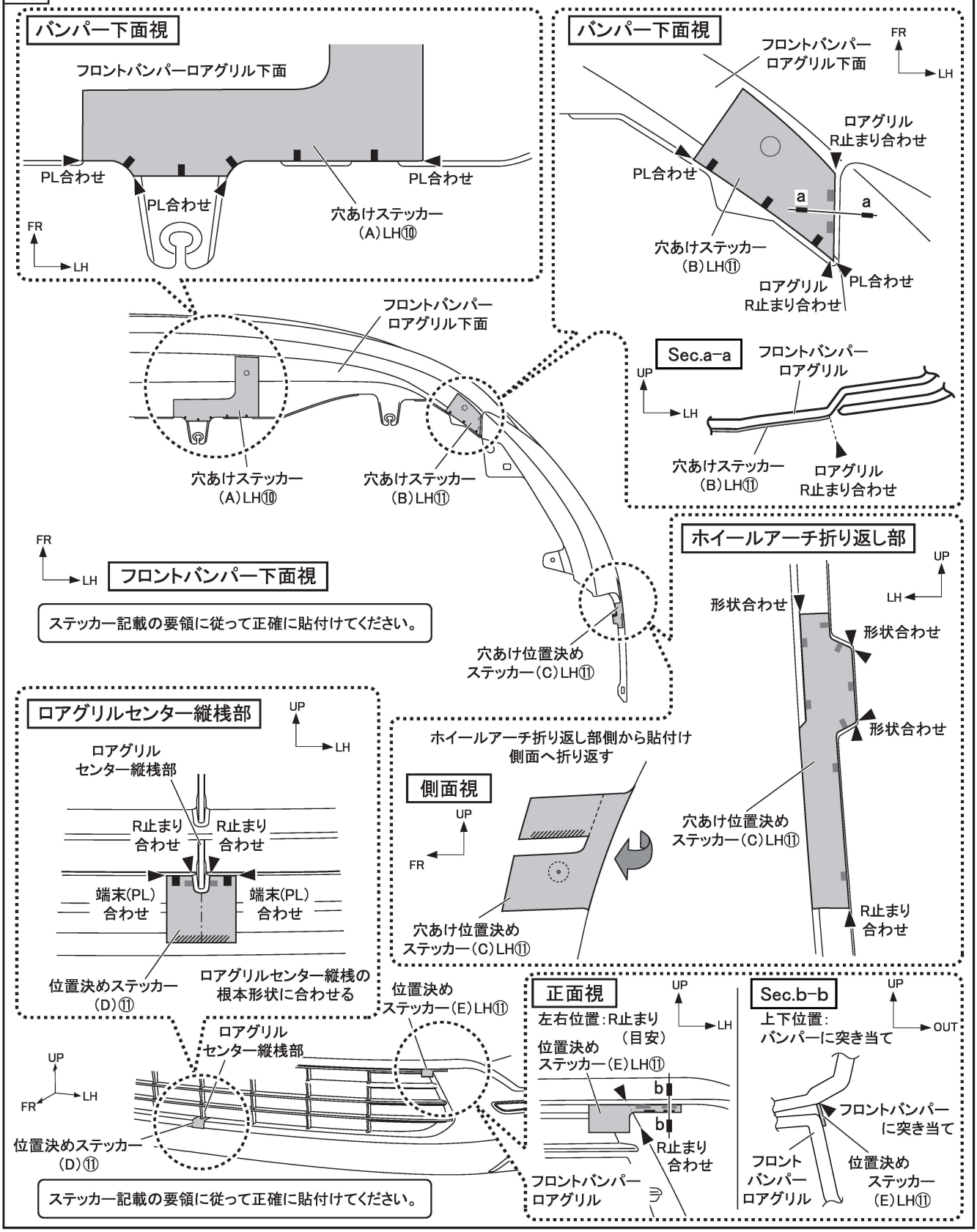
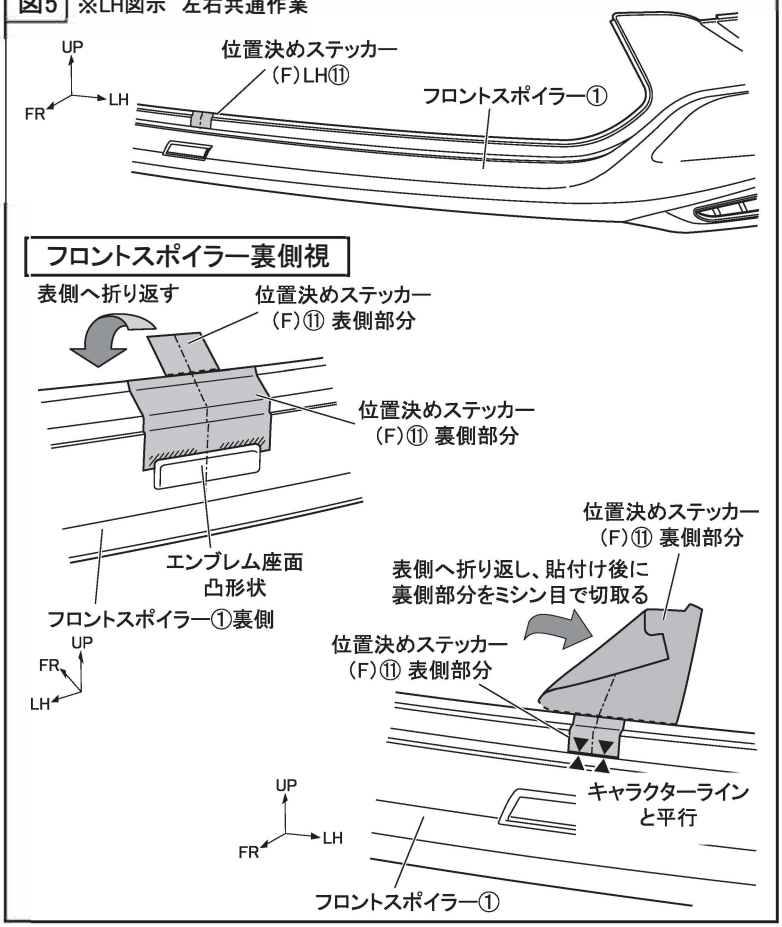


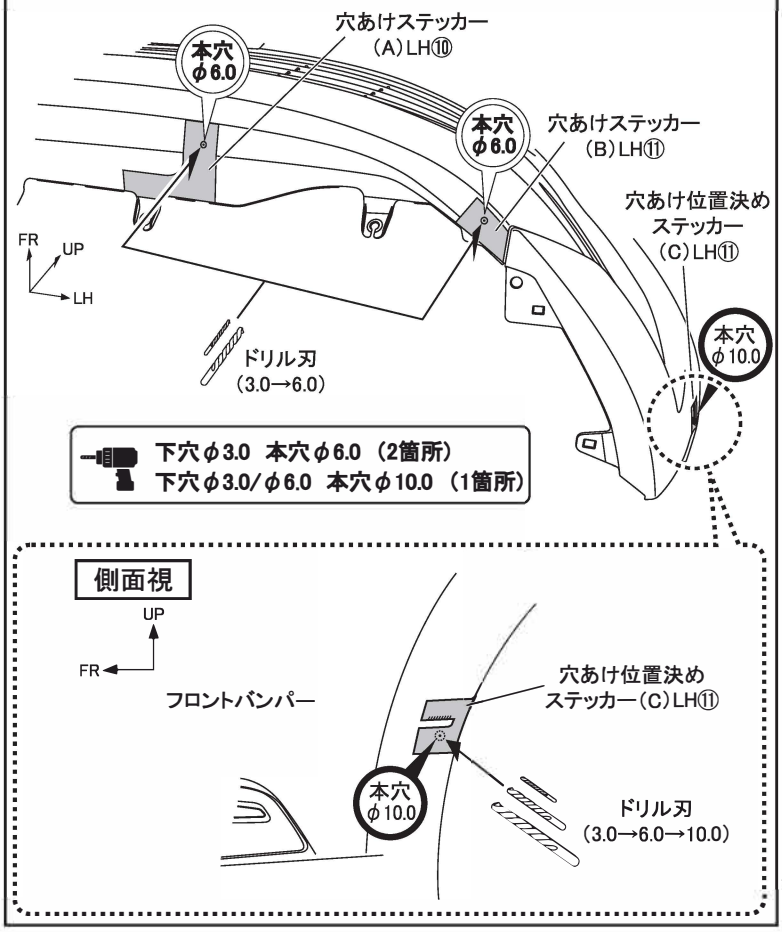
図5 ※LH図示　左右共通作業



2. 図5のように位置決めステッカー(F)⑪をフロントスポイラー①裏側センター位置へ貼付ける。
3. 図5のように位置決めステッカー(F)⑪の表側を残し、ミシン目で切取ってください。

⚠ **注意**：位置決めステッカー(F)⑪の表側の端末がフロントスポイラー①のキャラクターラインと平行になっているか確認してからミシン目で切取ってください。

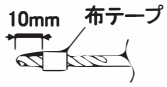
図6 ※LH図示　左右共通作業



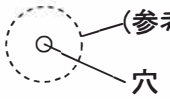
4. 図6のように穴あけステッカー(A)、(B)LH⑪に型抜きされている小さな穴の中心を狙いケガキ針で印を付け、ドリルで下穴をφ3.0であけ、φ6.0の本穴をあける。(2箇所)
5. 図6のように穴あけ位置決めステッカー(C)LH⑪に型抜きされている小さな穴の中心を狙いケガキ針で印を付け、ドリルで下穴をφ3.0→φ6.0の順であけ、φ10.0の本穴をあける。(1箇所)

⚠ **注意**：作業時は保護メガネを着用してください。
穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

アドバイス：突き抜け防止のため、ドリル先端から10㎜のところに布テープを巻付けてください。

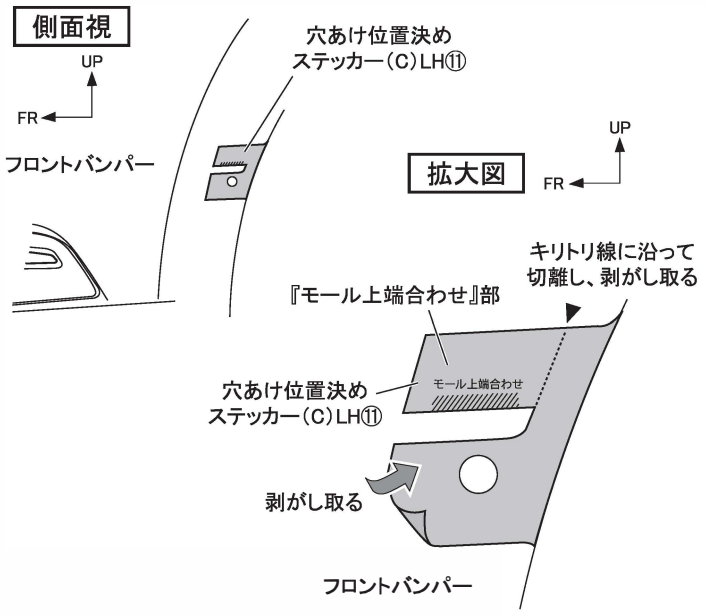


型抜きされている穴中心を狙って穴あけをしてください。



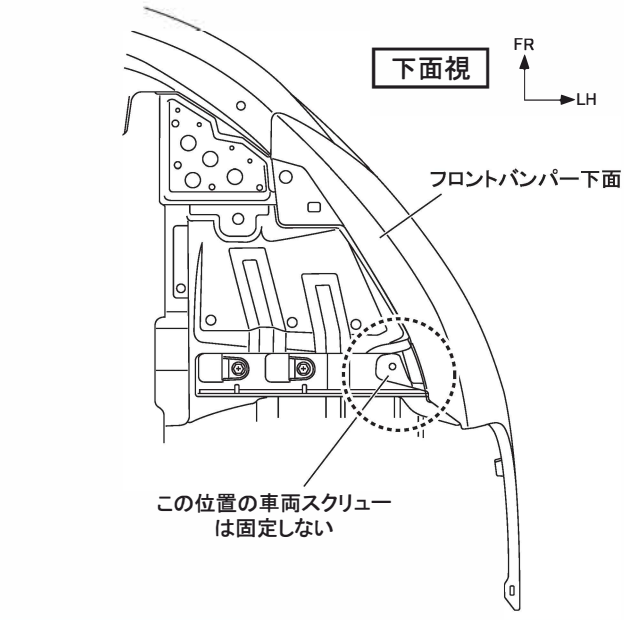
6. 穴あけステッカー(A)、(B)LH⑪を剥がし、穴周囲のバリを除去する。

図7　※LH図示　左右共通作業



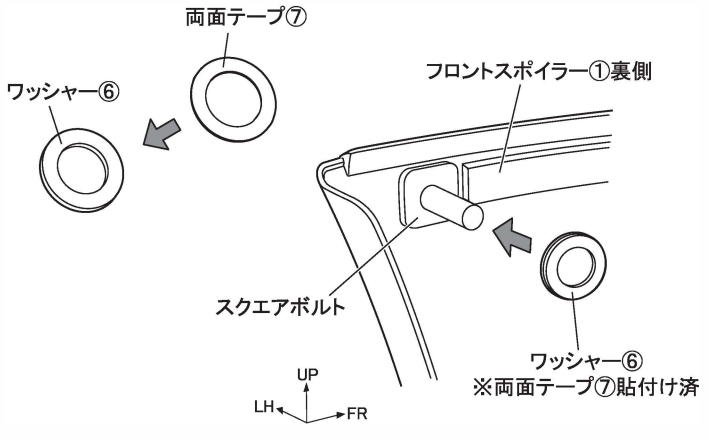
7. 図7のように穴あけ位置決めステッカー(C)LH⑪記載のキリトリ線に沿って切離し、『モール上端合わせ』部を残して剥がし、穴周囲のバリを除去する。(1箇所)

図8　※LH図示　左右共通作業



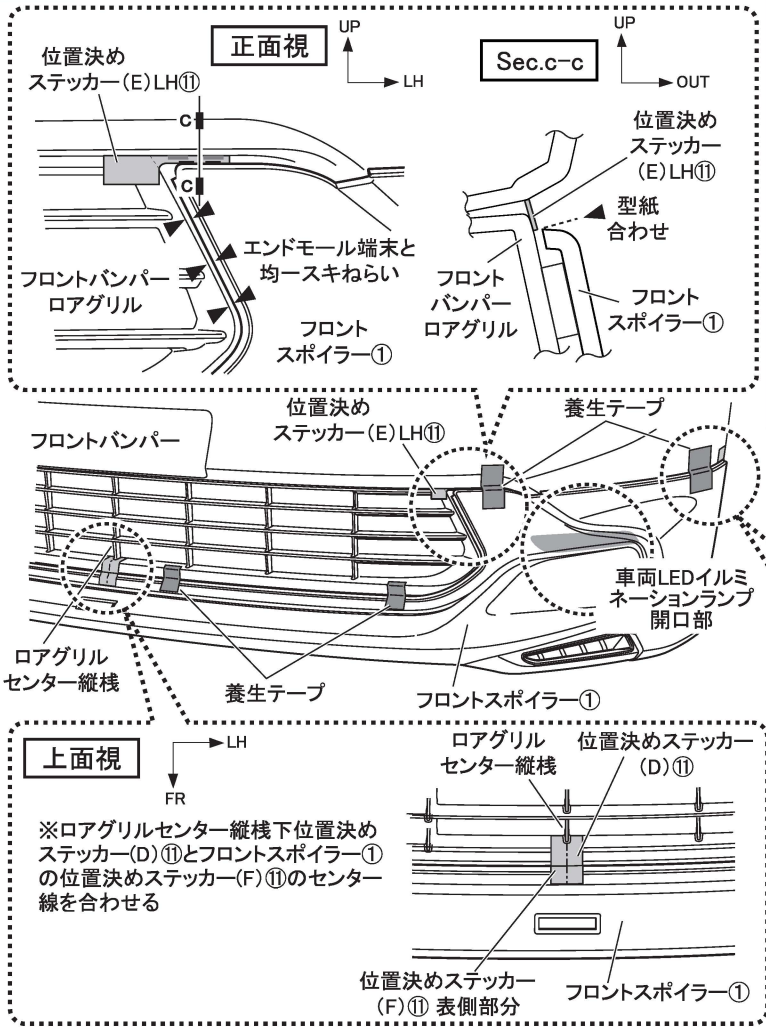
8. フロントバンパーを復元する。
※フロントバンパーを復元する際、図示位置の車両スクリューは固定しないでください。
フロントスポイラー①取付け時に同梱部品を使用しての固定部となります。

図9　※LH図示　左右共通作業



9. 図9のようにワッシャー⑥へ両面テープ⑦を台紙から剥がして貼付ける。
10. 図9のようにワッシャー⑥を離型紙を剥がしフロントスポイラー①裏側のスクエアボルトへ貼付ける。(1箇所)

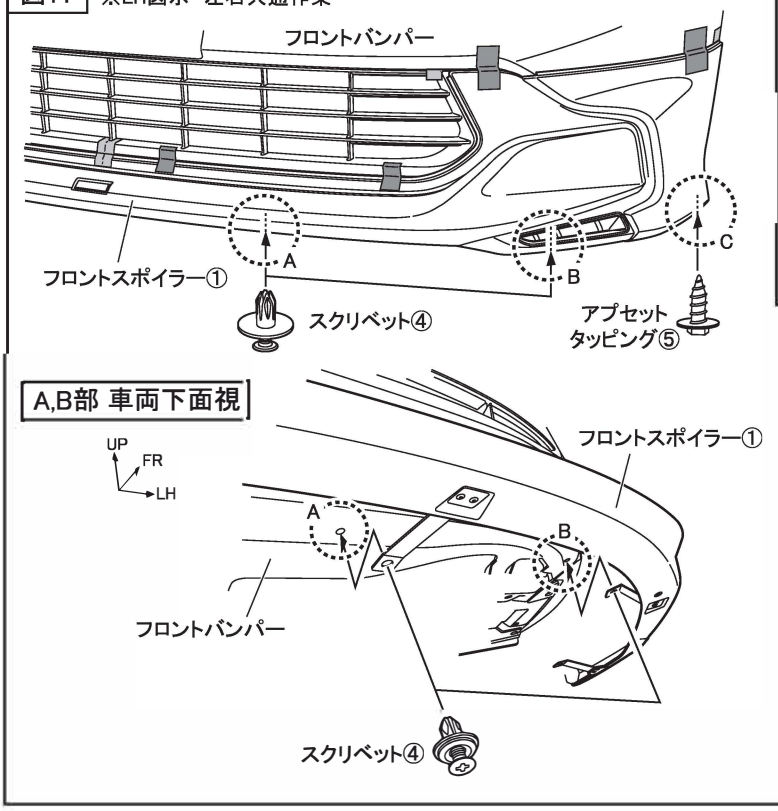
図10　※LH図示　左右共通作業



11. 図10のようにフロントスポイラー①をフロントバンパーに貼付けた位置決めステッカー(C)LH⑪とエンドモール上端を合わせてあてがい、側面裏側のスクエアボルトを差し込み、養生テープで仮固定する。
仮固定する際、センター部の位置決めステッカー(D)⑪と位置決めステッカー(F)⑪の中心線を合わせ、且つロアグリル横に貼付けた位置決めステッカー(E)LH⑪を図示の要領で合わせる。

アドバイス：フロントスポイラー本取付時は車両LEDイルミネーションランプ開口部へフロントスポイラー①LEDユニットLHハーネスを差しこんでおきます。

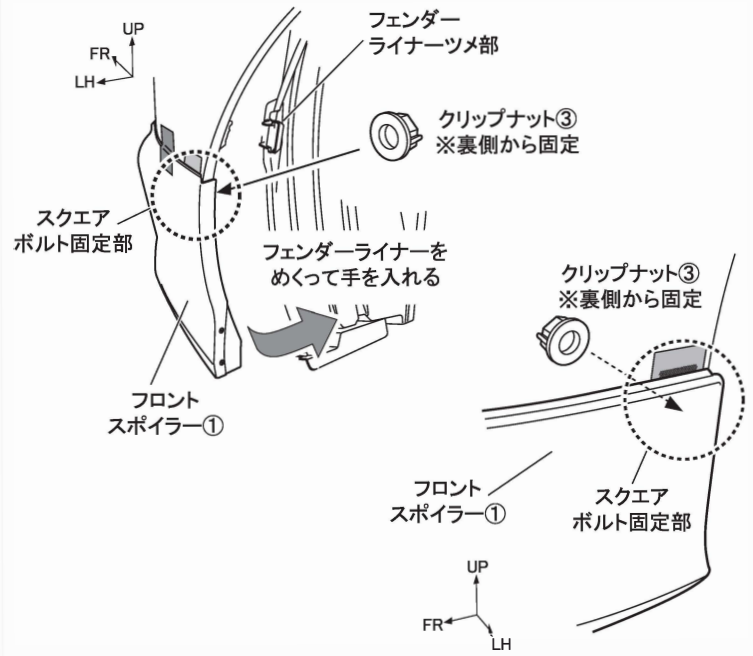
図11　※LH図示　左右共通作業



12. 図11のようにA、B部をスクリベット④で固定し、C部をアプセットタッピング⑤で仮固定する。　(3箇所)

アドバイス：スクリベットが押し込みにくい場合はプラスドライバーを回して締め込んでください。

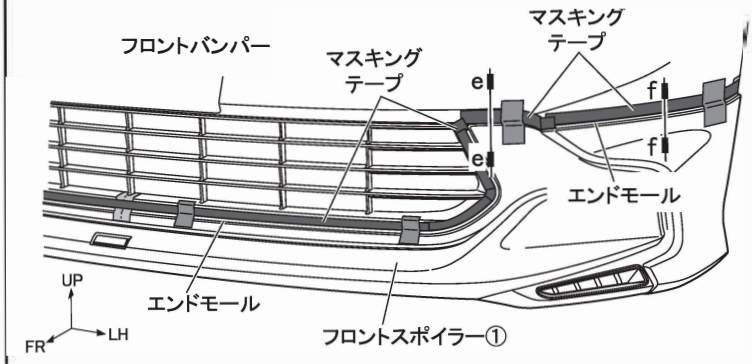
図12　※LH図示　左右共通作業

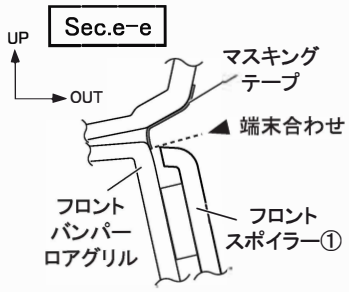


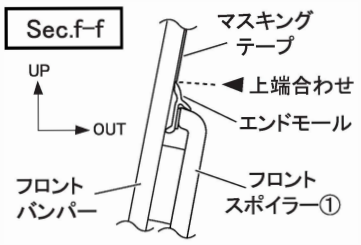
13. 図12のようにフロントホイールハウス内のフェンダーライナーを留めているツメを外し手を入れフロントスポイラー①のスクエアボルト部をクリップナット③で固定する。
14. フェンダーライナーを復元する。

⚠ **注意** : クリップナット③は本締めしてください。

図13　※LH図示　左右共通作業





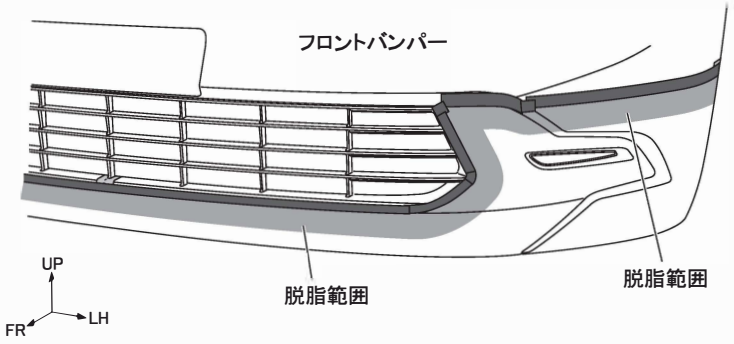


15. 図13のようにフロントスポイラー①のエンドモール上端及び端末(上端部全体)に合わせてマスキングテープでマスキングする。

⚠ **注意** : PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置を出し、マスキングを行なってください。

16. フロントスポイラー①を一旦取外す。

図14　※LH図示　左右共通作業

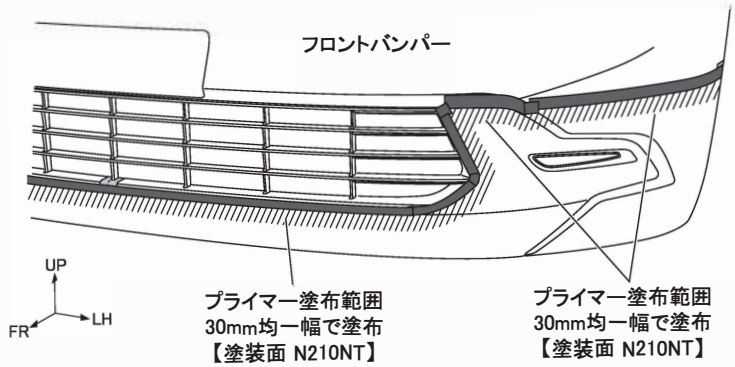


17. 図14 ▭ 部の汚れを取除き、イソプロピルアルコール(IPA)で一方向に拭いて脱脂する。

⚠ **注意**：脱脂を行なう際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残りテープが剥がれる原因となります。

アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。
※脱脂作業要領書を合わせて確認してください。

図15　※LH図示　左右共通作業



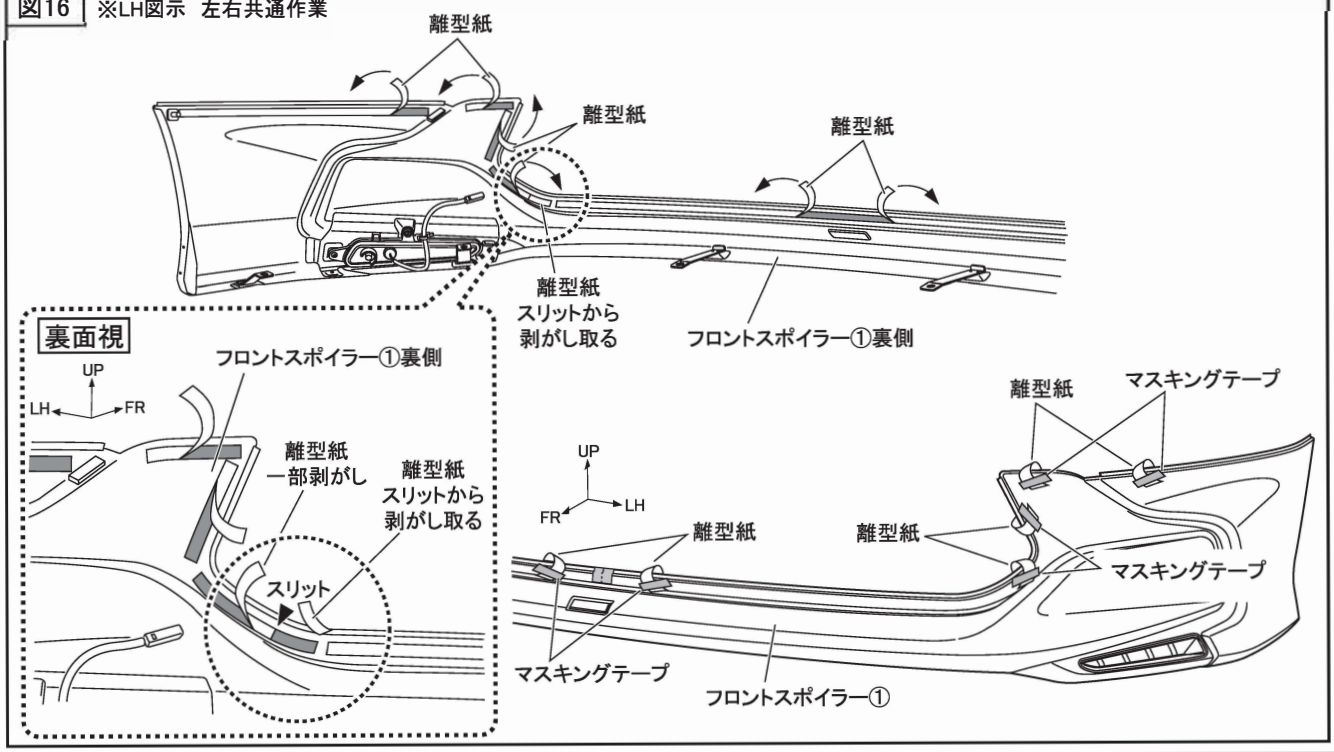
18. 図15 ▨ 部（両面テープ貼付け部）にPACプライマー⑫を塗布する。

アドバイス：PACプライマー塗布後は、常温で10分間以上放置し乾燥させてください。
PACプライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。
付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

19. 塗布後マスキングテープを剥がしてください。

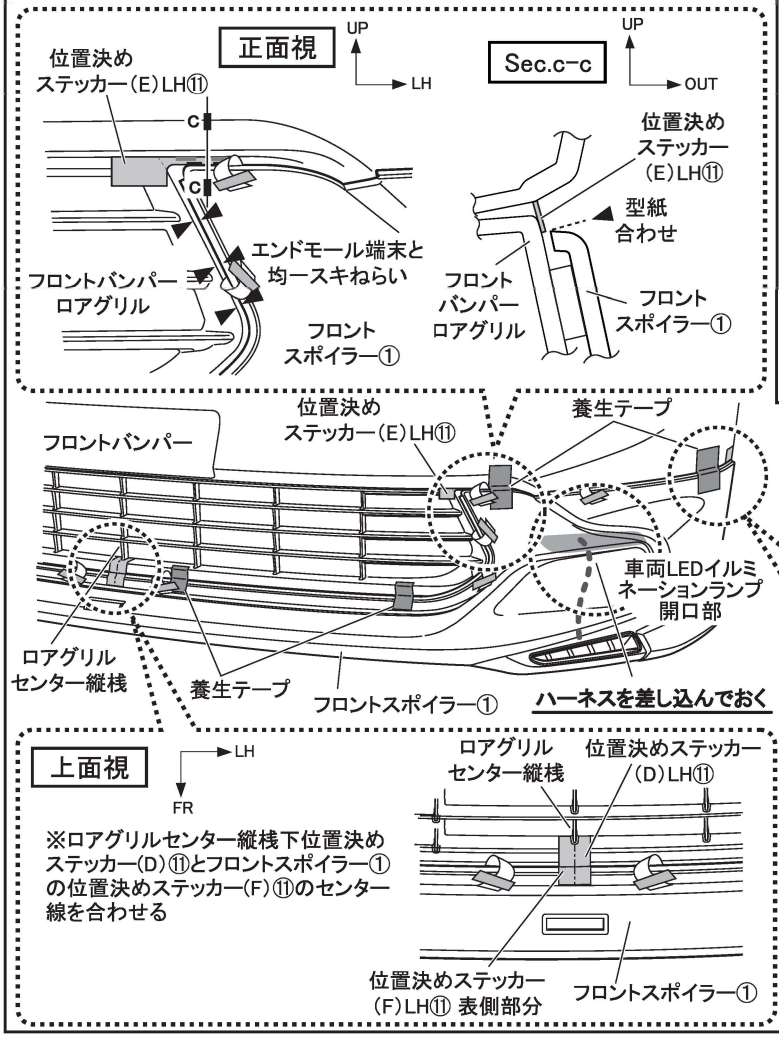
20. 図16のようにフロントスポイラー①裏側の両面テープ離型紙を矢印の方向に30㎜程度剥がし、表面に折返してマスキングテープで貼付ける。（全10箇所）

図16　※LH図示　左右共通作業



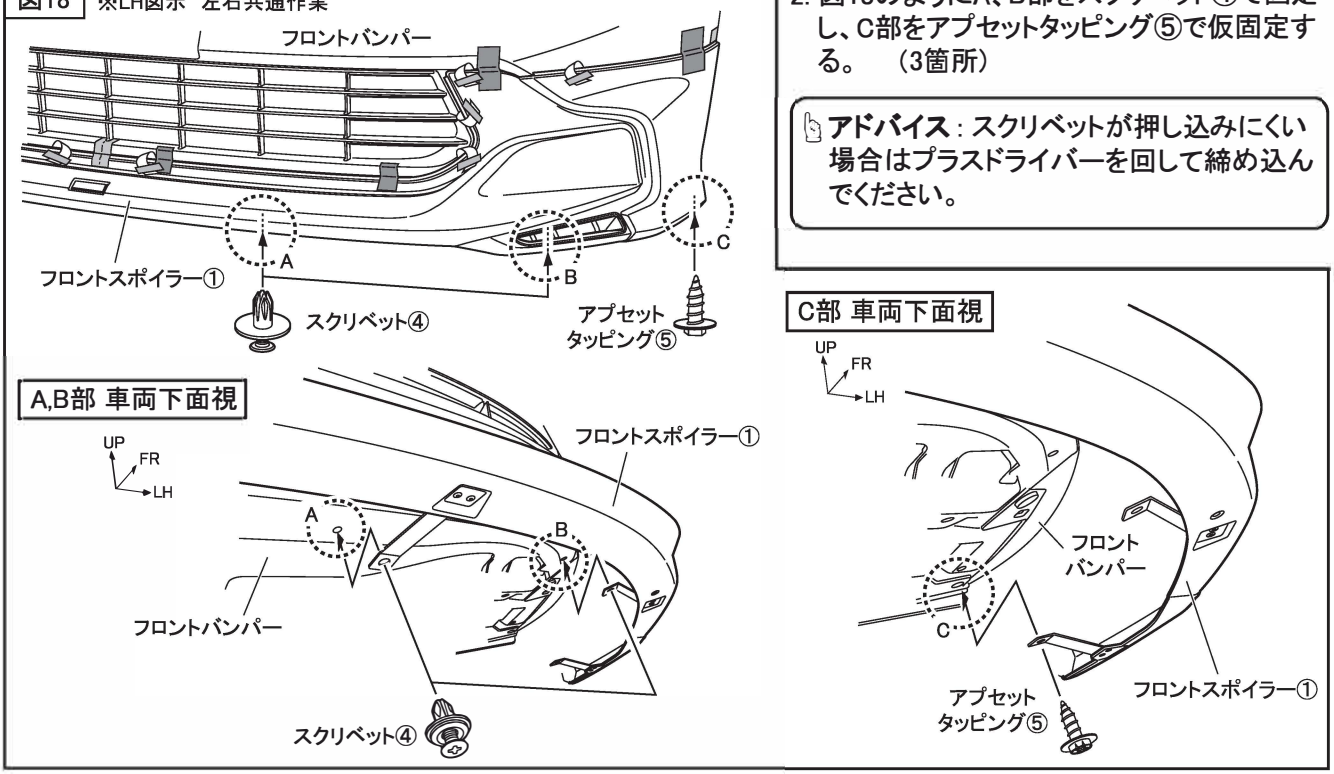
□ フロントスポイラーの取付け -1

図17　※LH図示　左右共通作業



1. 図17のように**車両LEDイルミネーションランプ開口部へフロントスポイラー①LEDユニットLHハーネスを差し込んでおき**、フロントスポイラー①をフロントバンパーに貼付けた位置決めステッカー(C)LH⑪とエンドモール上端を合わせてあてがい、側面裏側のスクエアボルトを差し込み、養生テープで仮固定する。
仮固定する際、センター部の位置決めステッカー(D)⑪と位置決めステッカー(F)⑪の中心線を合わせ、且つロアグリル横に貼付けた位置決めステッカー(E)LH⑪を図示の要領で合わせる。

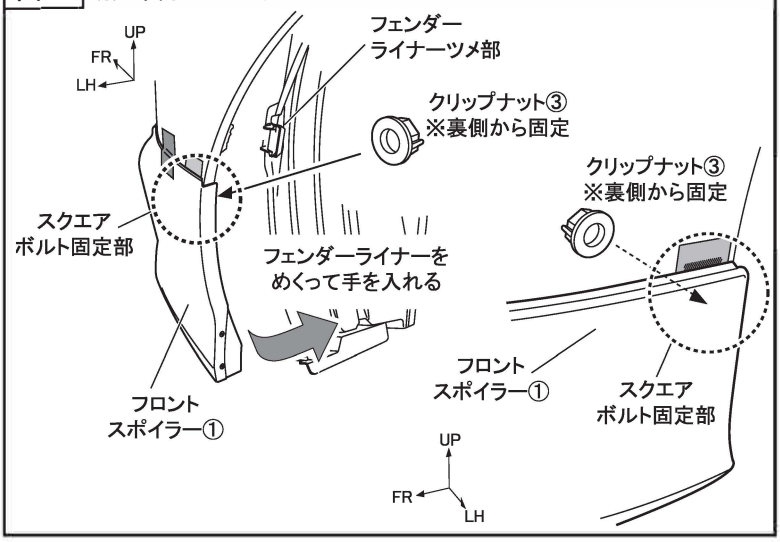
図18　※LH図示　左右共通作業



2. 図18のようにA、B部をスクリベット④で固定し、C部をアプセットタッピング⑤で仮固定する。　(3箇所)

アドバイス：スクリベットが押し込みにくい場合はプラスドライバーを回して締め込んでください。

図19　※LH図示　左右共通作業



3. 図19のようにフロントホイールハウス内のフェンダーライナーを留めているツメを外し手を入れフロントスポイラー①のスクエアボルト部をクリップナット③で固定する。
4. フェンダーライナーを復元する。

⚠ **注意**：クリップナット③は本締めしてください。

5. 図20のように両面テープ離型紙を❶～❿の順に矢印の方向へ剥がしながら圧着する。

アドバイス：ロアグリル下部の圧着の際は両面テープ部を一度圧着した後、フロントスポイラー①下側からも圧着してください。その際、ロアグリル下面固定部のスクリベット④（全4箇所）を一旦取外した状態で圧着し、圧着後に戻してください。

図20　※LH図示　左右共通作業

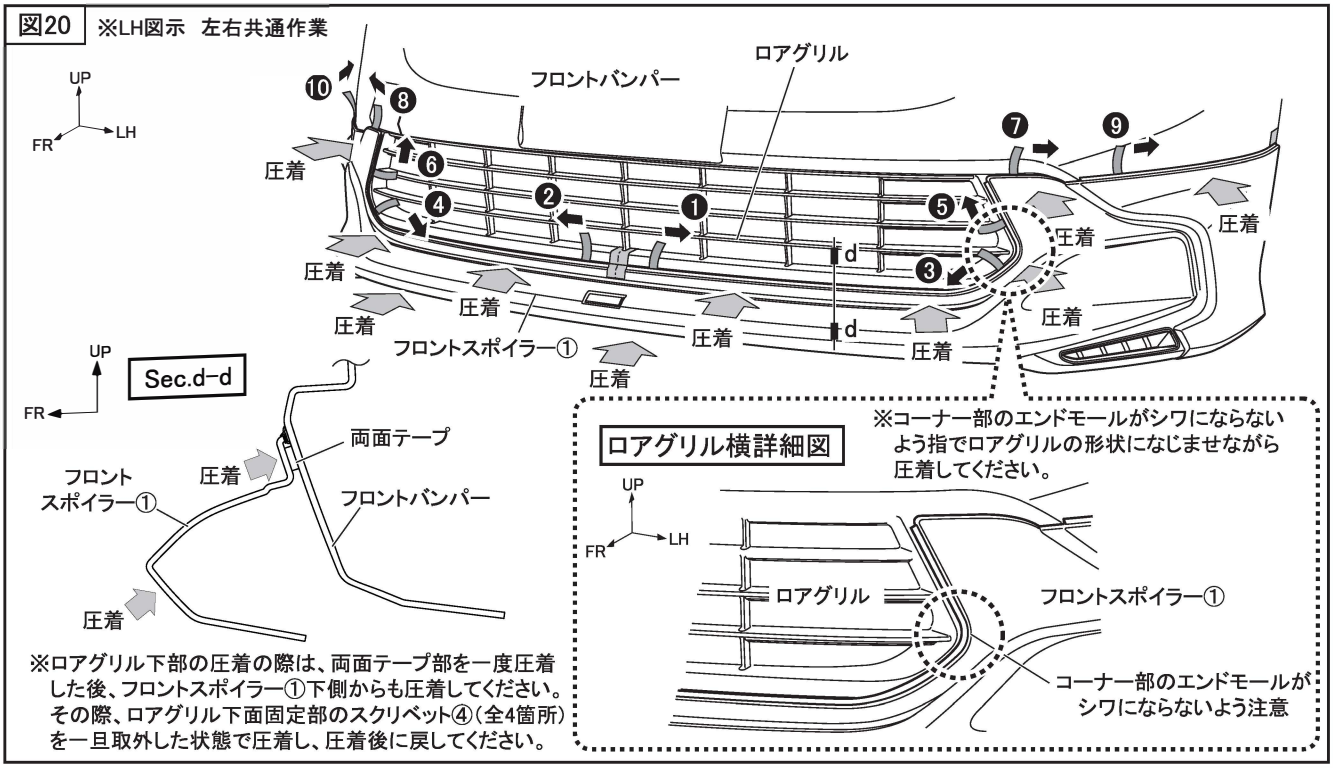
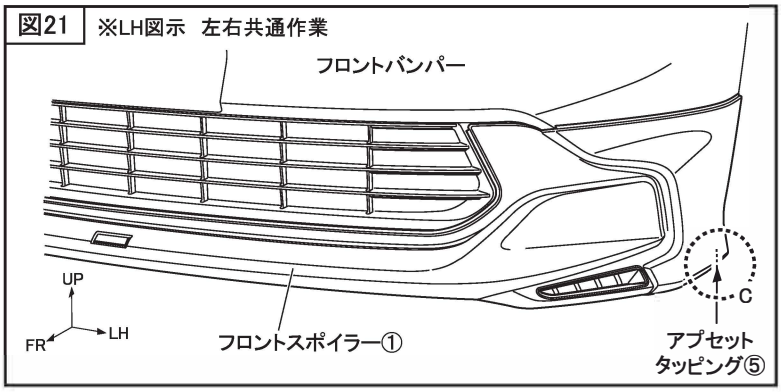


図21　※LH図示　左右共通作業



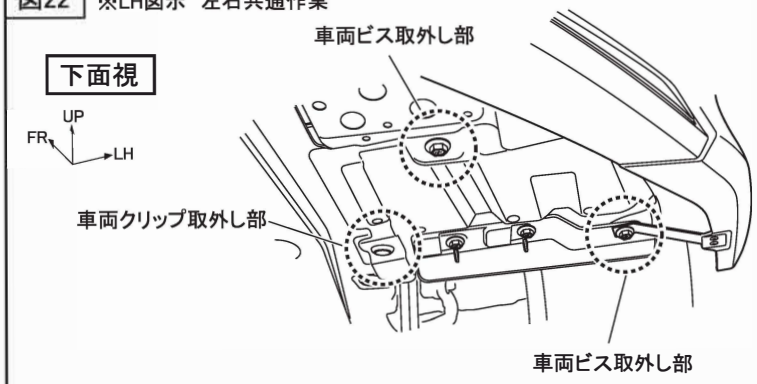
6. 図21のようにフロントスポイラー①下面図示C部のアプセットタッピング⑤を本締めする。（1箇所）

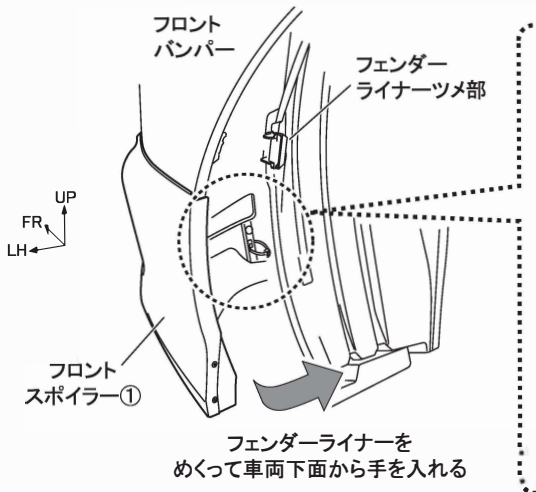
重要

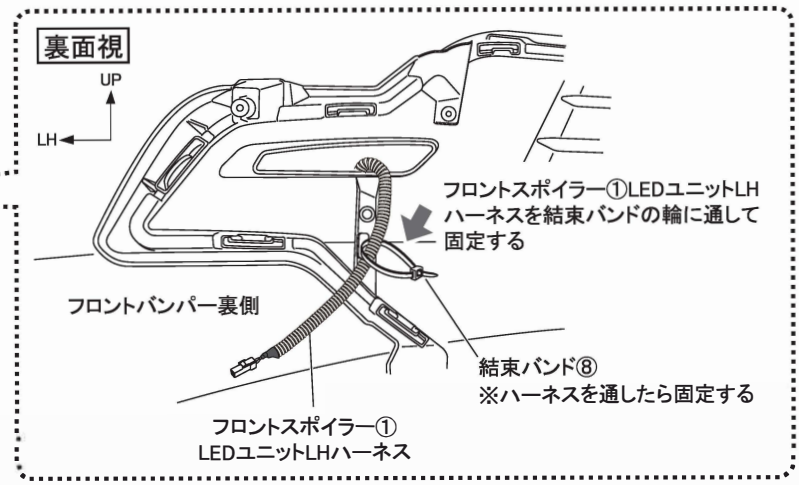
7. 浮き、剥がれ、傷等が無い事を確認し、再度圧着する。
8. 全ての養生テープを剥がす。
9. 全ての両面テープ接着面を全て**再圧着**する。

□ LED イルミネーションランプの結線

図22　※LH図示　左右共通作業

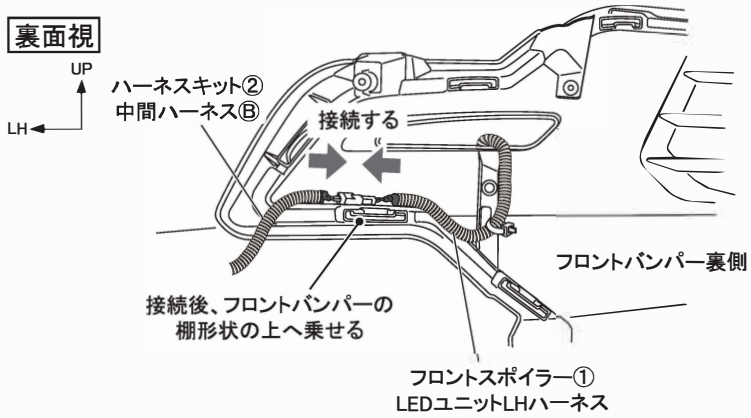


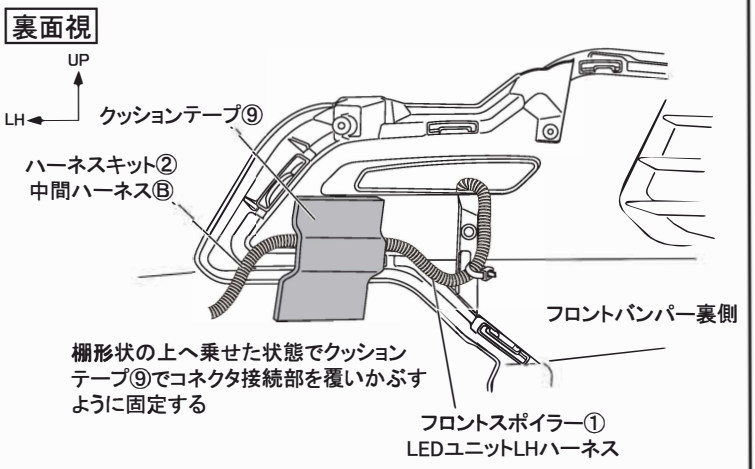




1. 図22のように車両下面フェンダーライナーを留めている図示位置の車両ビス及び車両クリップを外す。（3箇所）
2. 図22のようにホイールハウス内のフェンダーライナーのツメを外してめくり、車両下面から手を入れ、フロントスポイラー①LEDユニットLHハーネスを図3の4.で輪っかにしておいた結束バンド⑧に通して固定する。

図23　※LH図示　左右共通作業





3. 図23のようにフロントスポイラー①のLEDユニットLHハーネスとハーネスキット②中間ハーネスⒷを接続する。
4. 図23のように接続したフロントスポイラー①LEDユニットLHハーネスとハーネスキット②中間ハーネスⒷのコネクタ接続部を図示位置へクッションテープ⑨で固定する。
5. 車両下面及びホイールハウス内のフェンダーライナーを復元する。

■ 取付け完了後の点検・注意事項

アドバイス：
・両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。
・商品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、掛からないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。

⚠ **警告**：
・両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し、脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
・両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。
接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

■ LED イルミネーションランプ取付け後の確認・注意事項

1. ハーネスに無理な力が掛かっていないか、噛み込みや鋭利なエッジに干渉が無いことを確認する。
2. テールONの状態にしてLEDイルミネーションランプの点灯確認を行なう。

■ 取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周にわたり、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びフロントスポイラー周りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。

⚠ **警告**：
・分解・脱着した部位以外でも、周辺部品に触れて、ラジエータキャップのゆるみや周辺部品の変形などが発生することがあります。作業後は必ず確認を行なってください。

■ 未塗装品の取扱いについて

□ フロントスポイラーの塗装

下記は、未塗装品(MSD41-52018-NP)の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行なってください。

⚠ **注意**：本商品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。(本品の材質はABSです。)

1. 図24のようにフロントスポイラー①裏側の両面テープ、クッション、樹脂プレート、スクエアボルト、ブラケットをマスキングし、ブラック〈202〉及び車体色で塗装する。

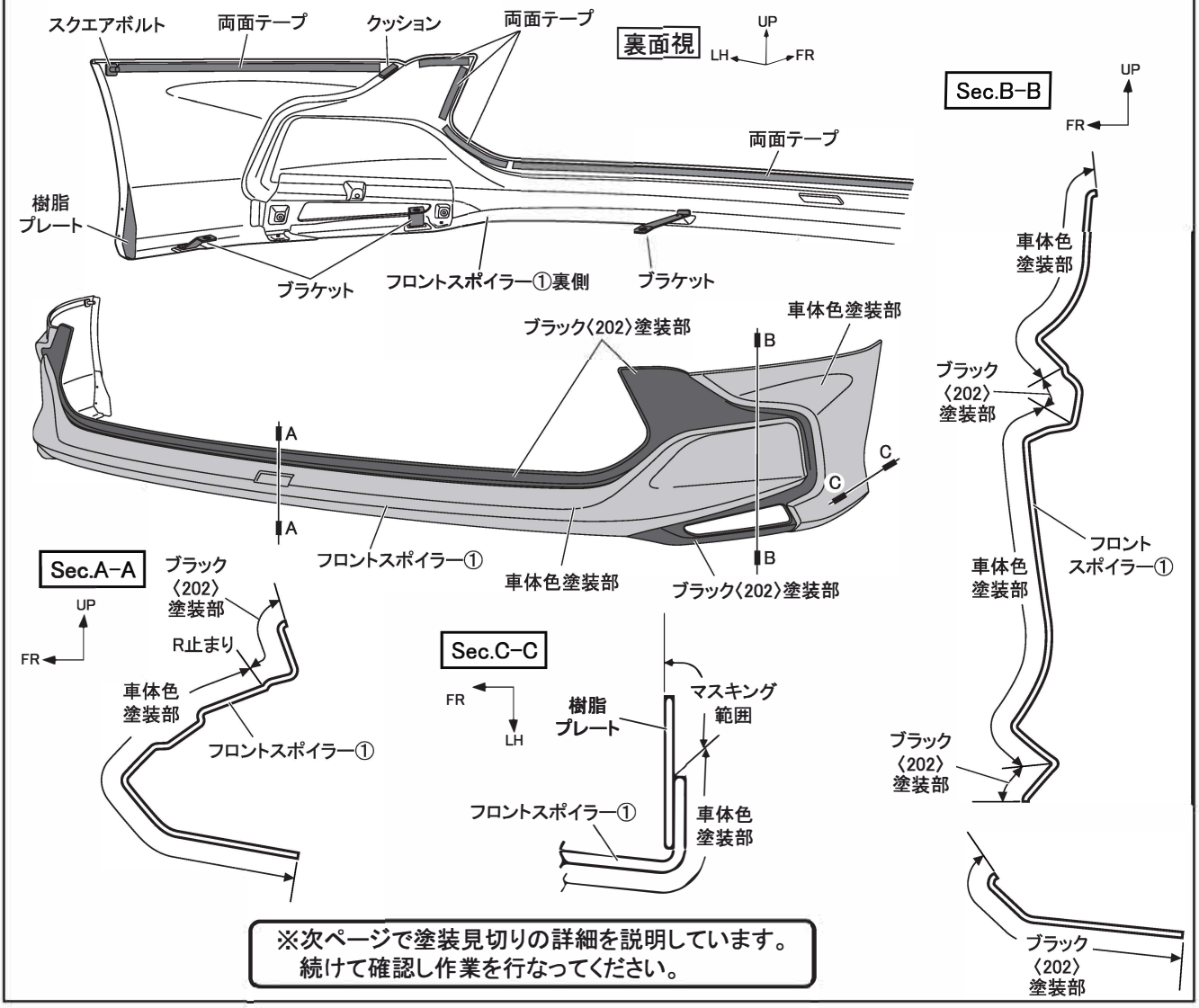
⚠ **注意**：脱脂作業を行なう際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
両面テープは絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。
マスキングテープを貼るなどして対応してください。
乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。
強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行なってください。

図24　※LH図示　左右共通作業

フロントスポイラー①
マスキング詳細図

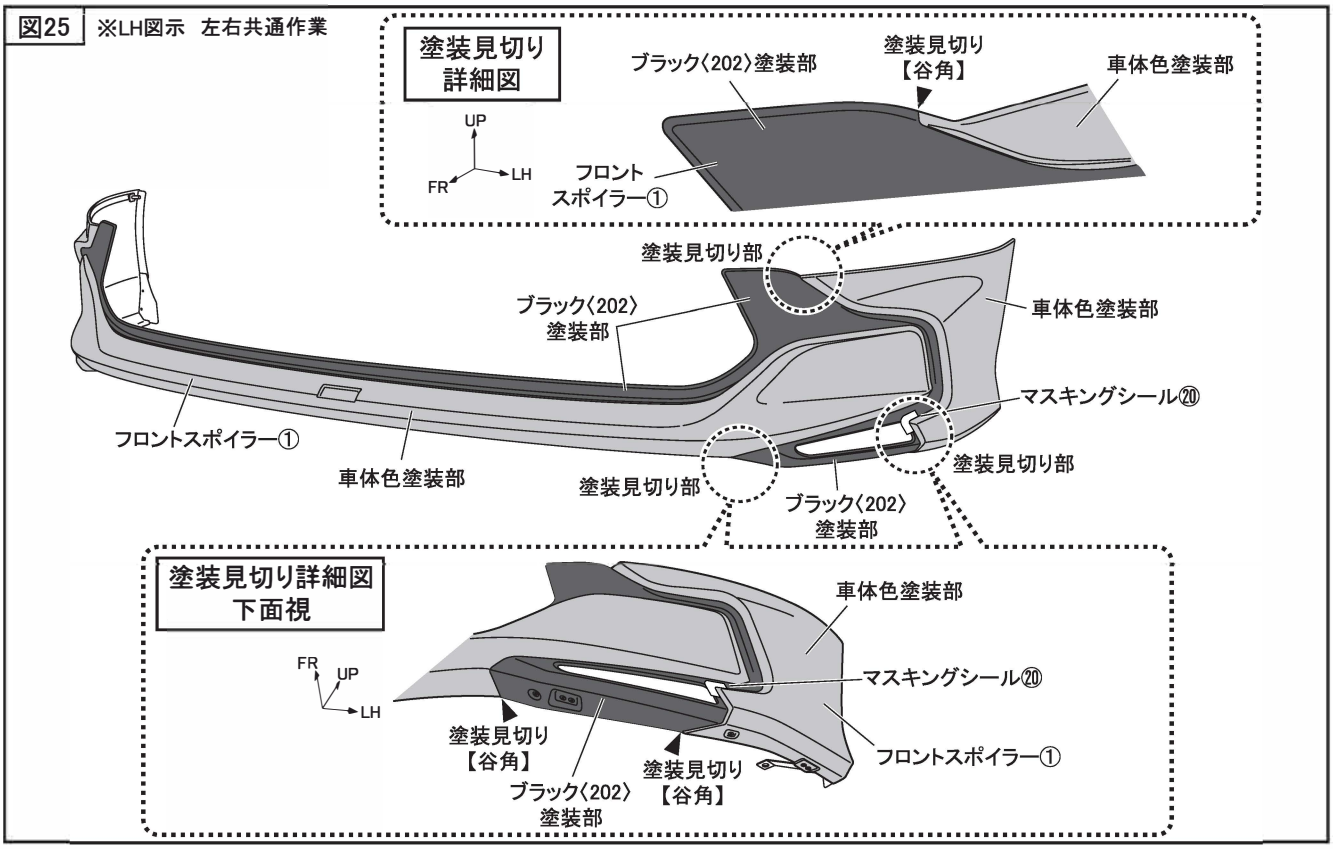
※両面テープ、クッション、樹脂プレート
スクエアボルト、ブラケットをマスキングする



※次ページで塗装見切りの詳細を説明しています。
続けて確認し作業を行なってください。

2. 図25のようにフロントスポイラー①をブラック〈202〉で塗装する。
3. 図25のようにフロントスポイラー①をマスキングシール⑳を使用して車体色で塗装する。

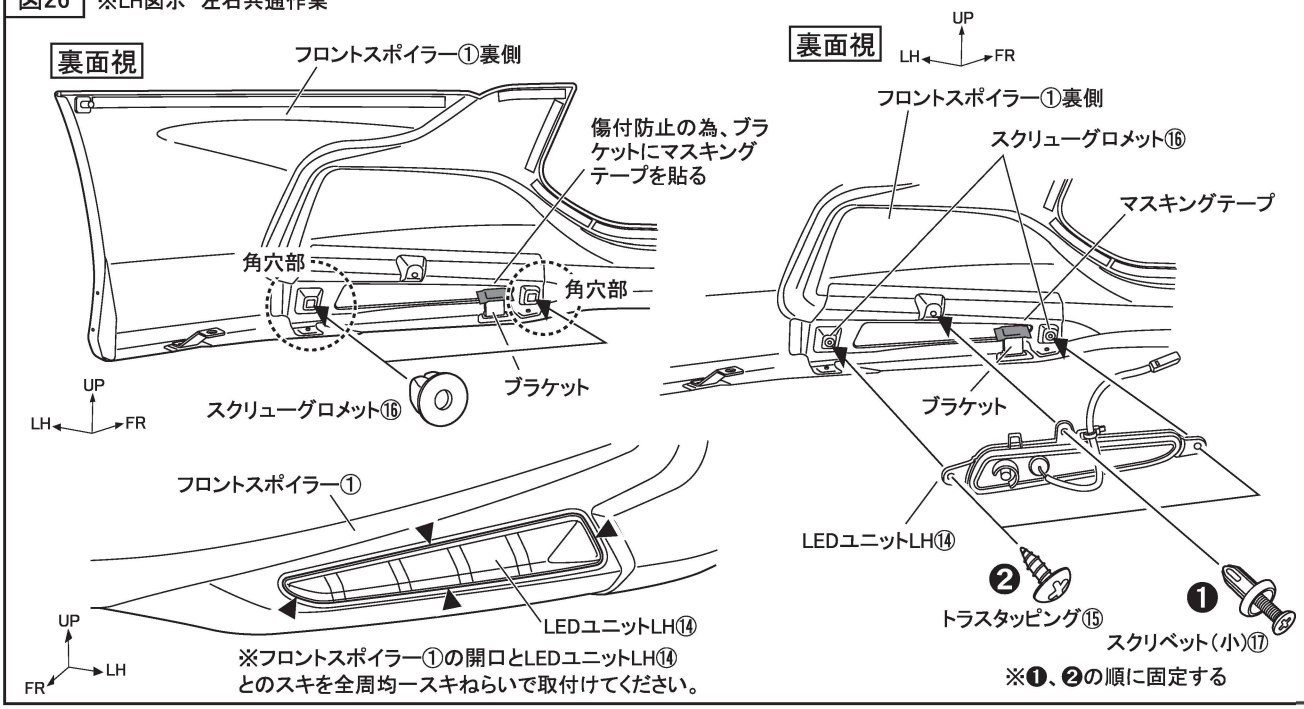
図25　※LH図示　左右共通作業



□ LED ユニットの取付け

4. 図26のようにLEDユニットLH⑭傷付防止の為、フロントスポイラー①裏側のブラケットにマスキングテープを貼る。
5. 図26のようにフロントスポイラー①裏側角穴にスクリューグロメット⑯を取付ける。（2箇所）
6. 図26のようにフロントスポイラー①にLEDユニットLH⑭を裏側から位置を合わせてあてがい、スクリベット⑰(小)で固定する。（1箇所）
7. 図26のようにフロントスポイラー①開口部とLEDユニットLH⑭とのスキが均一スキになるよう調整しながら、トラスタッピング⑮で固定する。（2箇所）

図26　※LH図示　左右共通作業

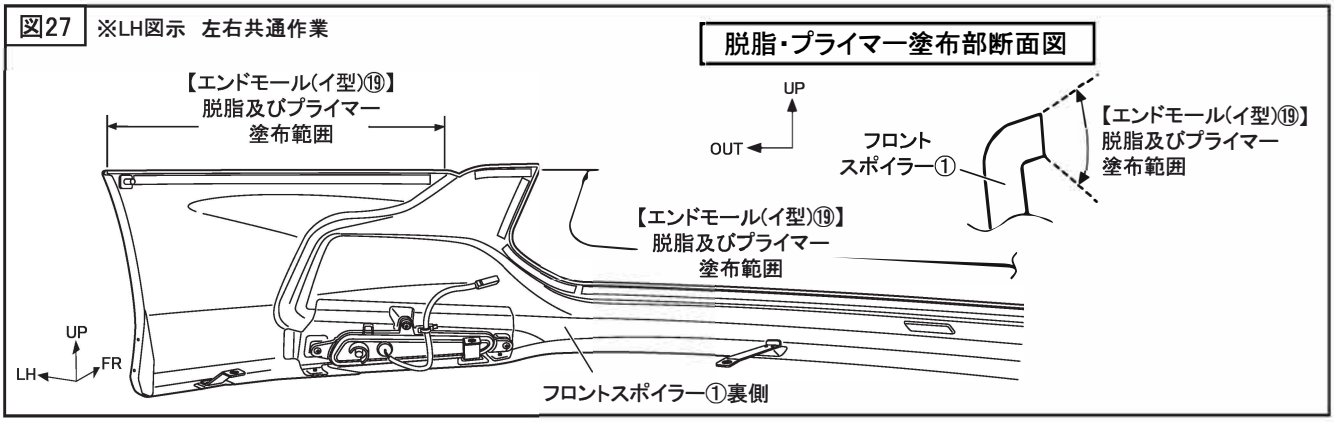


□ モールの取付け

8. 図27のようにフロントスポイラー①のエンドモール(イ型)⑲貼付部を一方向に拭いて脱脂し、パックプライマーN210NT⑫を塗布する。

> **アドバイス**：脱脂後は、十分に乾燥させてください。
> PACプライマー塗布後は、常温で10分間以上放置し乾燥させてください。
> PACプライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。
> 付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

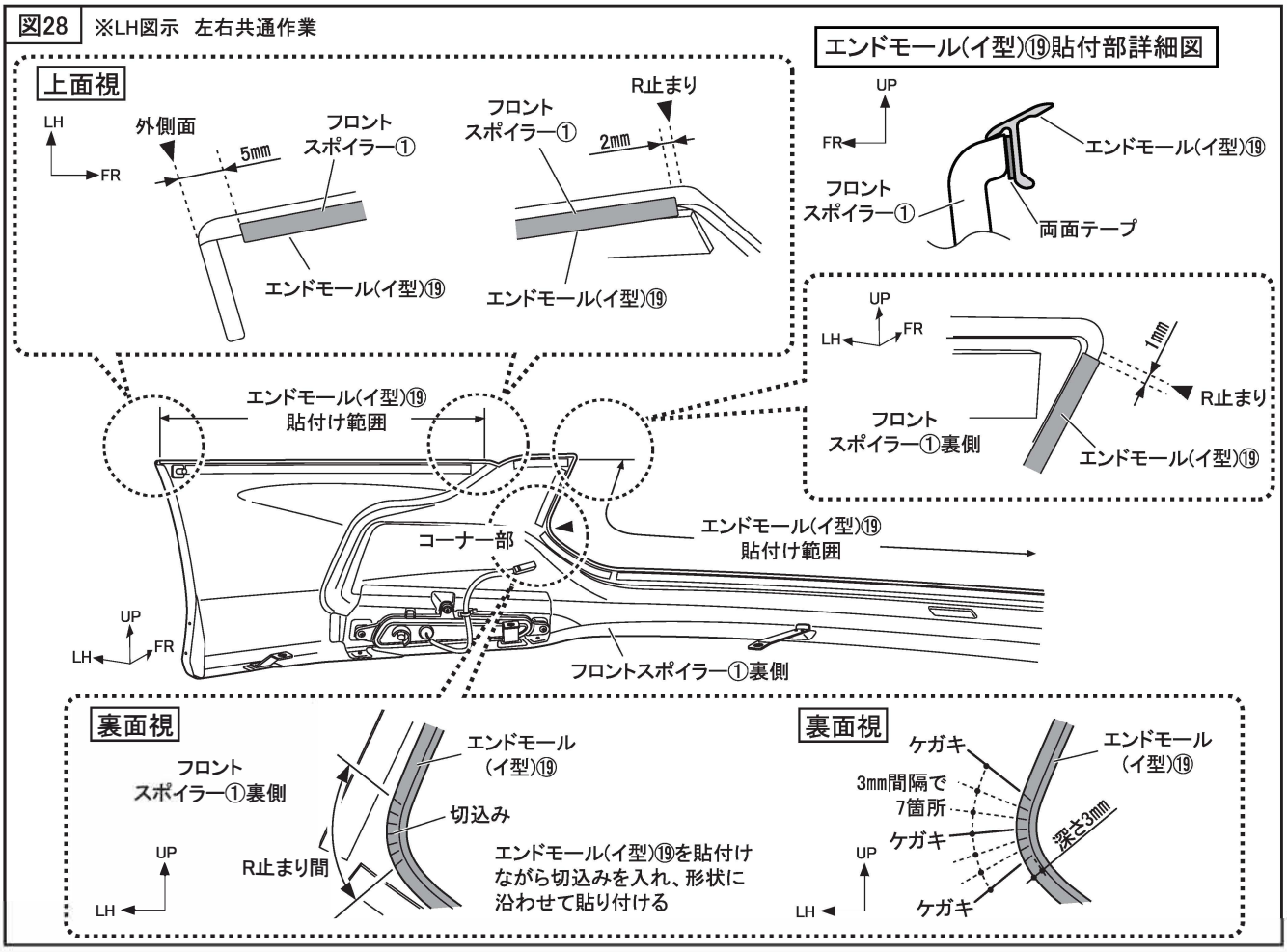
図27　※LH図示　左右共通作業



9. 図28のようにフロントスポイラー①へエンドモール(イ型)⑲を貼付ける。
10. 図28のように図示コーナー部はエンドモール(イ型)⑲へスリットを入れ貼付ける。

> **アドバイス**：エンドモール(イ型)⑲は長めに設定されているので長さを合わせてハサミ等で切り落としてください。
> エンドモール(イ型)⑲は、2色同梱されています。塗装色に合わせて選択し、貼付けてください。

図28　※LH図示　左右共通作業

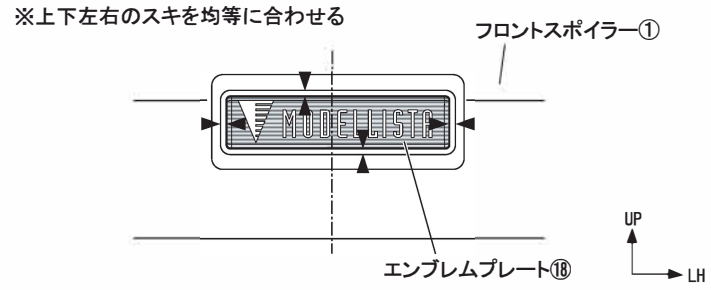


□ エンブレムプレートの取付け

10. 図29のようにフロントスポイラー①のエンブレムプレート⑱貼付部を一方向に拭いて脱脂し、貼付ける。
（1箇所）

アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

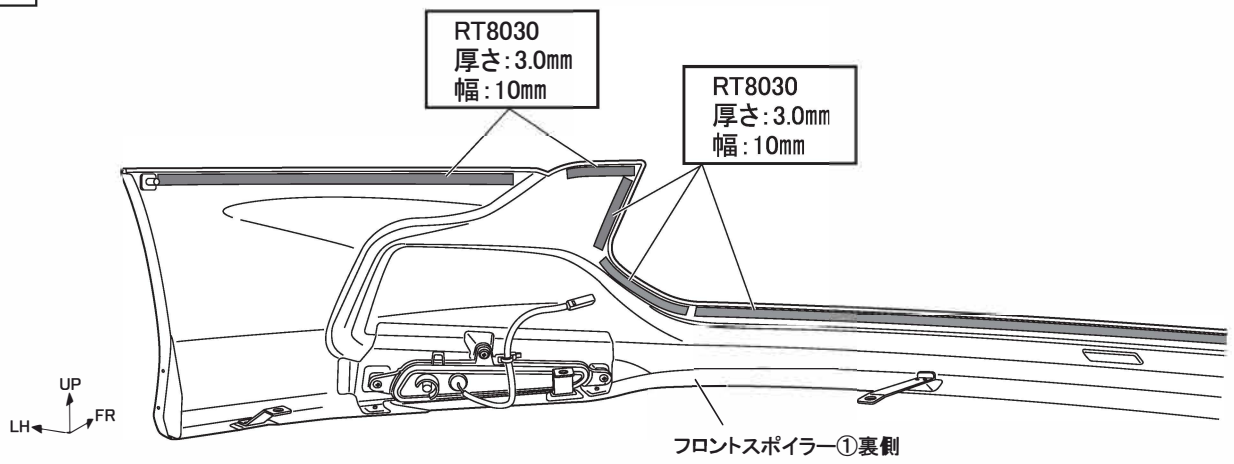
図29



■ 参考

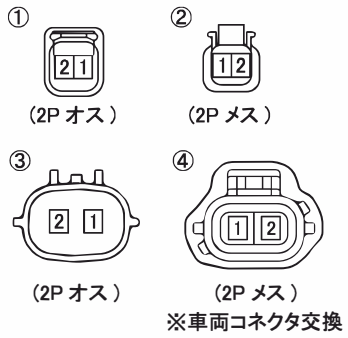
補修キット(品番：MSD80-52H33)を使用してフロントスポイラーの取付けを行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し、貼付けてください。
※両面テープを貼付ける際は、貼付部を脱脂し、プライマー(PACプライマーN210NT相当)を塗布してください。

図30　※LH図示　左右共通作業

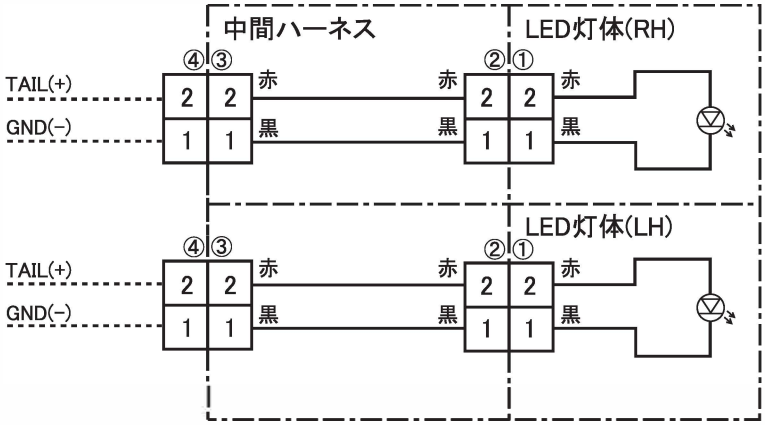


■ 配線図

車両ハーネス ----------
用品ハーネス ——————



コネクタ図(勘合面側視/ロック上側)



株式会社トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
MODELLISTA 商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-1000
https://www.modellista.co.jp/

脱脂作業要領書

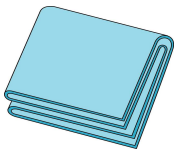
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

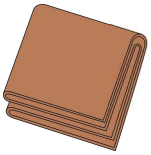
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

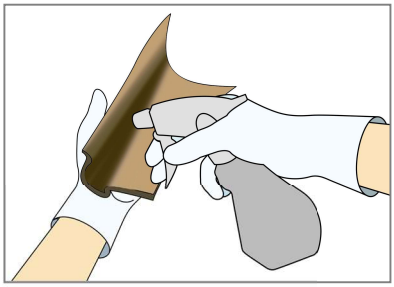

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

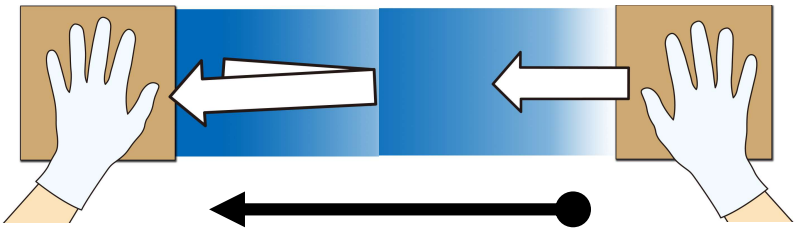


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

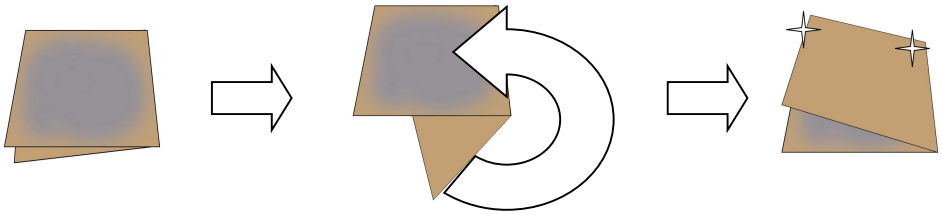
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。